

放生会クリーンアップ大作戦

～『筥ぽっぽ』プロジェクト～

1. はじめに

福岡市東区箱崎にある「筥崎宮」は日本三大八幡宮のひとつに数えられ、多くの人
が訪れる。また、毎年 9 月に行われる放生会の会場としても知られ、博多三大祭り
のひとつとして知られ、多くの来場者でにぎわう。しかし、たくさんのゴミがあふれ、
周辺住民の迷惑となるだけではなく、地球環境にも配慮しているとは言い難い。

ゴミを減少させることだけではなく、これをきっかけにして、「エコな街、箱崎！」
として発信する為にこのプロジェクトを実施したい。

2. 概略

- 時期 : 祭り期間(放生会)
- 場所 : 筥崎宮周辺、周辺の公共交通機関の駅。飲食店、商店街
- 参加者 : 住民、ボランティア、来場者



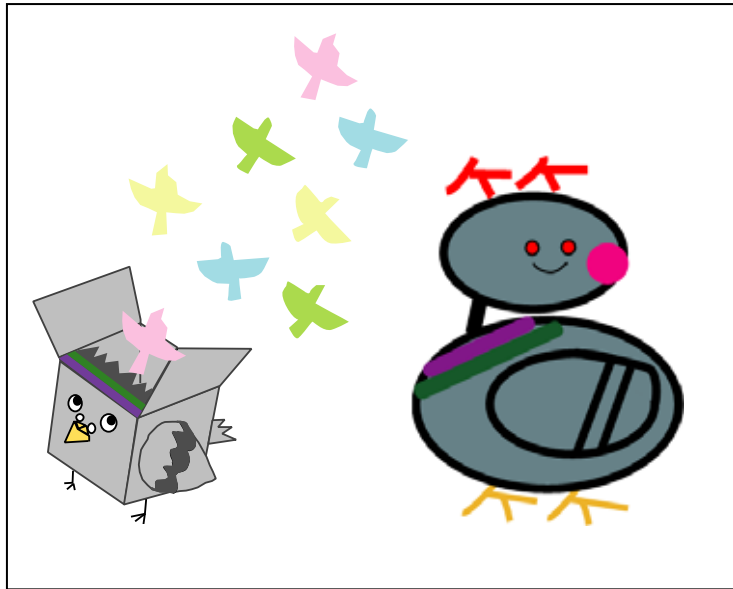
3. コンテンツ

① オリジナルの地域キャラクター『筥ぽっぽ』によるPR活動

エコな街として、キャラクターとともに宣伝する。

SNS やその他の地域イベントを通じて活動をアピールし、エコ発信元となる。

エコに関するブースを出店し、取り組みについて詳しく紹介し、賛同者を増やす。
地域オリジナルキャラクターをあしらったエコ商品を販売する。
売上はプロジェクト資金に充てたり、環境保護団体に寄付したりする。

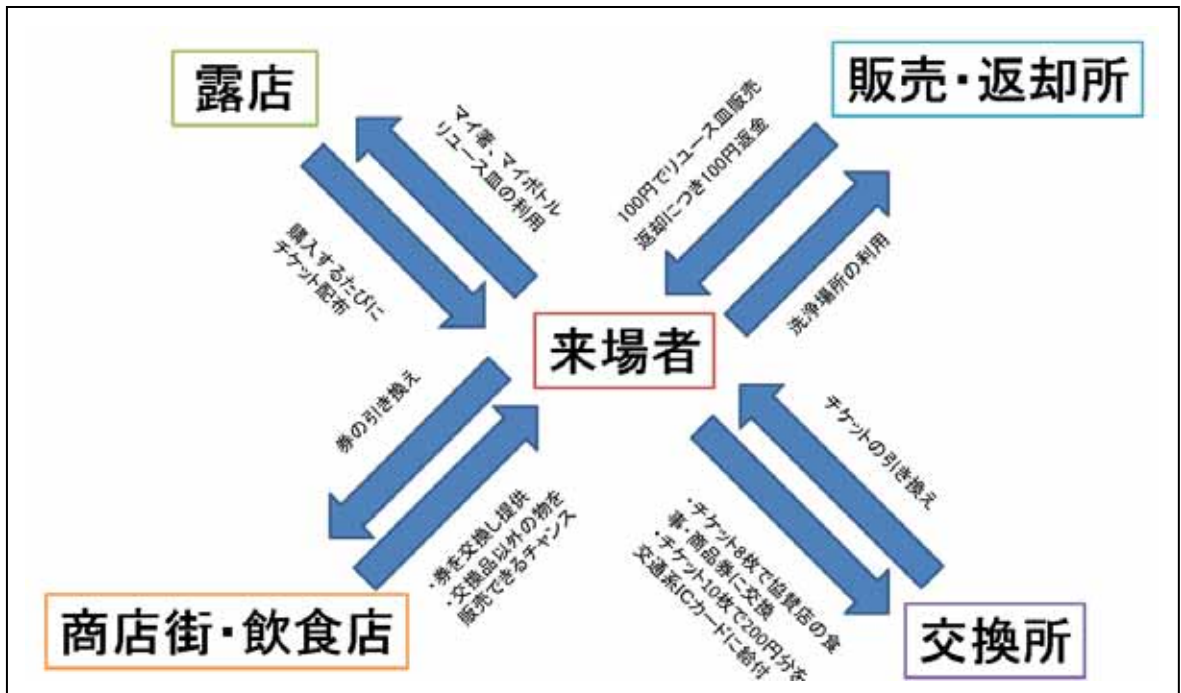


② ゴミの回収

出店する店が使用する容器の種類を減らし、分別回収を行いやすくする。
回収場所には、協力するボランティアに指導員となってもらい、文字だけではなく、視覚的にも分かりやすい見本を付ける。
周辺の駅、参道出入口に必要量を設置する。また、各露天にゴミ箱の設置を義務付ける。
ポイ捨てを無くす、ゴミを持ち帰ってもらうためにゴミ袋の配布を行う。

③ エコへの取り組み

リユース皿をデポジット代として 100 円で販売し、返却所に返却すると、100 円が返金される。
リユース皿で購入する度に、チケットを配布する。8 枚貯まると商店街や飲食店で商品に交換可能となり、チケット 10 枚で交通系 IC カードに 200 円給付となる。
また、マイ箸、マイボトル使用者にもチケットの配布を行う。
返却所には、洗浄場所を併設し、皿・マイ箸・マイボトル使用者には、自由に利用できるようにする。
将来的には、すべての店舗でリユース食器が使われることが望ましい。



④ NPO、ボランティアの役割分担

販売・返却所… 笹崎まちづくり協議会

洗浄場所… ボランティア 20 名

ゴミ箱指導員… 各ゴミ箱に 15 名

交換所… 箱崎商店連合会

ゴミ袋の配布… ボランティア 25 名

散乱ゴミの清掃活動… ボランティア 120 名

例として…

祇園祭は約 100 万人の来場者が訪れ、3 日間開催された。

3 日間で約 1500 人のボランティアを募集した。

⑤ ボランティア

学生やNPO、一般の方を募集し、ボランティアには『筥ぽっぽ』をあしらったボランティアのためのスタッフTシャツをプレゼントする。また、ボランティアの特典として「記念おはじき」を配り、協力者を増やす。



4. 課題

まず、自治体やボランティア、出店者、商店街、飲食店などのプロジェクト協力者を集めることが必要だ。次に、運営資金の確保が必要で、リユース食器をレンタルするための費用や、商店街や飲食店で使える券、など各プロジェクト協力者だけではなく、県や市町村の補助金などが受け取れると負担が少なくなると考える。

5. 参考

- 祇園祭のリユース食器の利用
- 早稲田祭のゴミの分別方法
- ロハスフェスタのマイ箸やマイボトル持参